

宮農情報

ミニゴボウの栽培



ゴボウは、中国から日本へ伝わり、古くから栽培されてきました。食物繊維を豊富に含み低カロリーで、きんぴらや天ぷら、煮物やサラダにして食べられるほか、漢方薬としても用いられます。

ゴボウは根が長い品種が多いですが、家庭菜園ではミニゴボウの方が作りやすくておすすめです。

月	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
作型	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下
春まき	○	—	○							
秋まき								○		

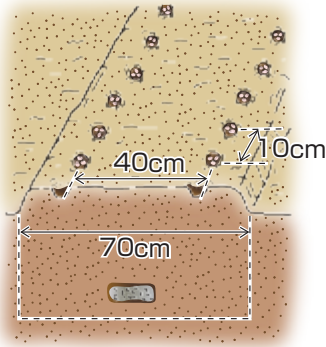
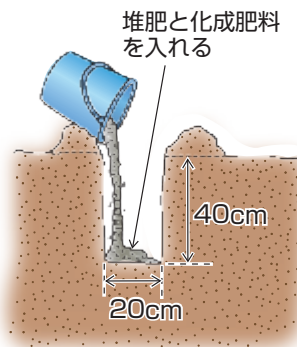
○ 種まき ■ 収穫

◆土づくり

水はけの良い場所を選び、10㎡あたり、堆肥1.5kg、有機特A 801号50g、苦土石灰150g施します。ミニゴボウの根は比較的短いですが、長さ35〜45cm程度にはなりますので、土はできる限り深く掘り返して、土の塊や石などは丁寧に取り除き、根がふたまた（また根）になるのを防ぎましょう。

◆種まき

ゴボウの種は深く埋めると芽が出にくいので、浅めに播いて、薄めに土をかぶせ、手で上から押さえて種と土をよく密着させます。また、前日に種を水に浸しておくが発芽しやすいです。



↑ 3粒ずつ点播きします。

◆間引き・追肥

間引きは2回に分けて行い、本葉1〜2枚の頃、本葉3〜4枚の頃に行い、元気がよく形の良いものを1本残します。2回目の間引きの時に園芸化成S 550を追肥し土寄せします。

◆収穫

最初は根が細いですが、早めに収穫した方がやわらかくておいしいゴボウが採れます。茎をつかんで引つ張れば簡単に収穫できますが、土が固まっていると、抜けずに茎と根がちぎれてしまいますので、水をやって土を柔らかくしてから収穫するのがポイントです。

春播き栽培では随時花が咲いてくるので、適期収穫するため一度に多く播かずに、少量ずつ段階播きするのも良い方法です。また、温度の低い時期に播種する場合は、トンネルや黒色マルチで温度を高める必要があります。

農業登録変更について

平成29年11月に以下のとおり、農業登録変更がありました。変更内容等詳しくは、最寄りの宮農経済センターにお問い合わせください。

平成29年11月8日付け事項変更登録

- ・ベリマークSC
- ・ベネピアOD
- ・ハチハチ乳剤
- ・アグロスリン水和剤
- ・ロディーくん煙顆粒
- ・ロディー水和剤
- ・ロピンフッド ・ウララDF
- ・モンカット水和剤
- ・モンカットフロアブル40



獅子座
7/23～8/22

【全体運】 物事をネガティブに考えやすい時期。持ち前の明るさを忘れずに。また、うわさ話に興味を持つのも運氣低下のもと
【健康運】 疲れたら、ゆっくり休んで。自愛が必須 【幸運の食べ物】 - プリ